

# 佐渡米通信 こめ〜る 11月号



**10/26** 新潟市産業振興センターで「第16回協同組合まつり」に参加しました。さどっ粉(米粉)をPRのため、小豆餡入り米粉餃子に挑戦し、大勢の来場者に「おいしい・珍しい」の評価をいただきました。佐渡地元パン屋さんの米粉パン(クルミ入り)も人気がありました。



**10/28~31** シンカ\* ポール伊勢丹での新潟フェアに参加し、佐渡産PRのため朱鷺と暮らす郷米とあんぼ柿の販売を行いました。新潟のお米は知っていても、佐渡島については初めて聞いたという方も多くて、大勢の方から興味を持っていただきました。あんぼ柿は試食をして初めてその食感ととろける甘さを知る方がほとんどで、気に入った方はまとめ買いをされていました。



**11/3** JA 佐渡の主催で「第18回佐渡ふれあいアッセまつり」が開催されました。JAの青年部・女性部や各種の出店があり、地元の農産物・乳製品など並び、3000人の来場者でにぎわいました。特設ステージでは、「アンパンマン」による交通安全教室が行われ、子供たちが大変喜びながら横断歩道の渡り方など交通ルールを学びました。



## イベント特集

## 佐渡「おけさ柿」

JA 佐渡の中央選果場は10月3日から稼働し、11月8日現在集荷実績 84,458 コンテナ(20kg 換算数)となっています。

おけさ柿について「種がない柿は越後七不思議の次に珍しい」として「八珍柿」とも言われています。特徴としては、色はオレンジでがん予防等に効果がある「β-クリプトキサンチン」と生活習慣病予防に効果がある「リコピン」という色素が含まれています。そのほか、ビタミンCも多く含まれ、食べる時期を変えることで、パリパリした食感からジューシーでとろける食感のものまで、好みに応じた食べ方が楽しめます。

本年産は収穫時期が昨年より早く生産量も多く、もちろん甘みも大きさも良好です。果物店などで見かけたら、是非お買い求めください。



おけさ柿



JA 佐渡中央選果場作業中の様子

**2014/11/29(土)「新潟県 佐渡の実り」が銀座三越9階テラスガーデン 10:30~18:00** 当日、JA 佐渡のコーディネーターが佐渡特産品の佐渡米・おけさ柿・牛乳などを紹介します。ぜひ、ご来場いただき、佐渡の魅力をお楽しみください。



地元の方が応援に

佐渡はとても良いところですよ!

東京出身  
武井さん

25年前に、中国のハルビンから佐渡に...

長島さん

この日、佐渡市から、農業体験するワーキングホリデーの大学生が富井さんのお家に泊まるとのことでした。

コスト低減については、例えば農機具の修理などは、出来ることは自分でやります。農業は大変だけど、やる人が少ないから、農業をやり続けたい。これからの夢については、後継者を作りたい。もっとも多くの若者に農業の良さを知ってもらい、担い手が増えたい。助けてくれる人を増やしていきたいです。」と話されていました。

近、東京からの農業アルバイトの方も来ている。滞在期間は一週間です。コスト低減については、例えば農機具の修理などは、出来ることは自分でやります。農業は大変だけど、やる人が少ないから、農業をやり続けたい。これからの夢については、後継者を作りたい。もっとも多くの若者に農業の良さを知ってもらい、担い手が増えたい。助けてくれる人を増やしていきたいです。」と話されていました。

**富井澄雄さん(42)こみいすみお**  
佐渡市の出身で、12年前に佐渡に戻った富井さん。現在田んぼ2・5ヘクタール、佐渡特産おけさ柿4ヘクタールを経営しています。柿を収穫しながら富井さんが「大学卒業後、ずっと東京にいたが、30歳の時に親のことを考えて、佐渡に帰ってきた。最初、規模は小さくなくなったが、集落に農業が出来なくなってきた人が多くなり、引き受けているうちに大きくなった。自分ひとりでは出来ないで、季節雇用者を雇ったり、地元の方が手伝いに来て作業をしています。また、現在新規就農者の方一人を年間雇用しています。最近、東京からの農業アルバイトの方も来ている。滞在期間は一週間です。



富井澄雄さん

編集人：佐渡農業協同組合 営農事業部米穀販売課 渡部・買(まい)

[beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp](mailto:beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp)

発行日：平成26年11月